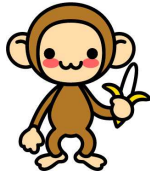


NST NEWS

H19.9.28
第 13 号



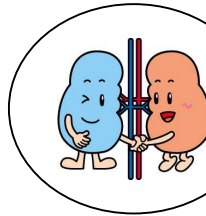
末梢静脈栄養は
どれくらいのカロリーを摂取できるの？

今回は前回に続き静脈栄養について紹介しましょう。

絶食期間が**短期間**の場合は**末梢静脈栄養**、**長期間**の場合や水分の制限が必要な場合は**中心静脈栄養**といわれています。末梢静脈栄養では輸液 1 本当たりのカロリーが少ないので、必要なエネルギーを摂取しようとするとう液水分量が増えて、腎臓や心臓に負担がかかることがあります。

輸液 1 本当たりのカロリー

| 500ml 当たり | エネルギー (kcal) |
|-----------|--------------|
| KN3B | 54 (kcal) |
| ポタコール R | 100 (kcal) |
| トリフリード | 210 (kcal) |



例 1

KN3B を 1 日 4 本使用したら 合計 **216 kcal** 水分 **2000 ml**

水分摂取は行えますが**エネルギー不足**となります。また、エネルギーを増やそうとすると水分が過剰になります。

例 2

トリフリードを 1 日 3 本使用したら 合計 **630 kcal** 水分 **1500 ml**

この場合、トリフリードのエネルギーは糖質しか含まれていないので**アミノ酸が不足**します。もちろんビタミン剤も加えないと欠乏症が起こる可能性があります。またトリフリードで **1200 kcal** 投与するには、**3L**の輸液が必要で、高齢者には水分オーバーになります。

ちなみに、例えば身長 135cm、体重 28kg の小さな女性でも、エネルギー：900kcal、水分：1000～1300ml くらいは計算上必要です。

上記の例のように、末梢静脈栄養は生命を維持するのに必要な栄養素を補うことが難しくなるので、2週間が限度と言われています。しかし2週間と言っても、それ以前の栄養状態、栄養摂取が比較的良好な場合を前提とするので、消化管が回復し正常に機能している場合は、できるだけ早く経口や経腸栄養に移行することが大切です。

今後 NST では、1 週間以上末梢静脈栄養を行っている絶食患者様への投与内容を把握・評価し、医師へ治療方針の確認を行っていきます。



第5回 地域健康講座にてNSTの活動を紹介しました！

8/25(土)に地域健康講座『高齢者のいきいき食生活』と題して当院でのNSTの活動を紹介させて頂きました。今回は発表の内容・アンケート結果などを中心にご紹介します。

【参加者】

| | |
|--------|-----|
| ・患者本人 | 5名 |
| ・家族介護者 | 12名 |
| ・医療従事者 | 3名 |
| ・介護従事者 | 7名 |
| ・その他 | 2名 |
| 計 | 29名 |



内容は当院でのNSTの活動を中心に、在宅での高齢者の食生活や生活習慣病の予防、また当院での食事の工夫について説明し、ミキサー食の試食も提供しました。

食事は人が生きていく上でとても重要な要素で、それと同時に楽しみでもあります。誰にでも身近で関心の深い内容であったこともあり、質疑応答も盛り上がり、充実した講座となりました。



鮭ミキサー(左)と大根ミキサー(右)の試食もしてもらったんですよ。



アンケートでの意見を紹介します。

【有意義だった点】

- ・試食品を準備して頂き実際に体験できて良かった。
- ・ミキサー食の摂取介助はしているが実際に自分が口にしたのは初めてで介助される側の気持ちが少し解ったような気がした。
- ・軟菜食について色々使いやすい商品があることを知った。
- ・ゼリー食の家族が入院して2年近くなるが今まで何を食べているのかをよく考えてみなかった。講義を通しよくわかった。

【物足りなかった点】

- ・メリハリのある説明があれば良かった。
- ・時間が短い。

貴重なご意見ありがとうございました。

今後もNSTの活動をよろしく願います。

